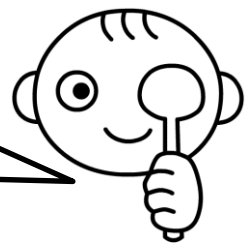


見え方で困っていることは
ありませんか？



★相談スタッフは、熊本県内の見え方に困り感のある幼児児童生徒の相談支援にあたっており、教育的な立場から見え方を評価する「教育的視機能評価」が実施できます。また、専門家として、これまで多くの見えにくさのある方々をサポートされてきた、視能訓練士の木下雄貴氏にも御協力をいただきます。

日時：令和3年1月15日（金）

10：00～16：00

場所：八代総合庁舎 1階集会室

〒866-0811 八代市西片町1660

◆詳細は、下記を御覧ください◆

★対象★：見え方に困り感のある乳幼児や学齢の児童生徒、保護者、先生方、保健師の方々など
※成人の方は、要相談。お電話ください。

★定員★：先着4名（予約制）

★時間★：お1人につき、45分～1時間です。
裏面の希望時間帯①～④からお選びください。

★費用★：無料

★申込★：盲学校に直接電話でお申込みください。

※持ち物等は裏面を御参照ください。

◆お問い合わせ・申込先◆

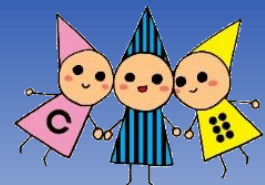
熊本県立盲学校

☎096-368-3147

地域支援部 上原

※電話は事務室につながります。「相談会の申込」とお伝えくだされば、担当者につながりますので、お気軽にお電話ください。担当者不在の場合は、折り返します。

見え方の相談会



相談内容の例

相談設定時間

◆乳児期◆

- なかなか目が合わない。
- 追視をしない。
- 黒目（瞳）の様子に違和感がある。
- 目が小刻みに揺れていることがある。
- おもちゃ等に興味を示さない。

10:00 ①

11:30 ②

13:30 ③

15:00 ④

お1人約1時間

◆幼児期◆

- 目を押さえてものを見る。
- 目を細めてものを見ることがある。
- 顔や体を傾けてものを見る。
- 視力検査をととても嫌がる。
- 片目をふさぐと嫌がる。
- 遠くの物に興味を示さない。気づかない。
- 文字に興味を示さない。
- 色への興味関心が薄い。実際の色と言葉が上手く対応しない。
- 慣れない場所では、あまりよく動けない。
- 物にぶつかったり、段差につまずいたりすることが多い。
- 暗い場所が苦手である。
- 明るすぎる場所が苦手である。

持ち物【乳幼児】

- 眼科の診断書や眼鏡の処方箋
- 眼科で処方されている眼鏡
- 水分
- ※おもちゃなどお気に入りのもの、おやつ等。

※印については、お子さんが不安を感じた場合に、少しでも安心してもらうために必要だと考えるものです。相談に必ずしも必要なものではありません。

◆学齢期以降◆

- 眼鏡をかけても0.3の視力が出ない。
- 文字の書き間違いが多い。
- 文章が上手に読めない。
- 黒板が上手く写せない。
- はさみや定規、コンパスが上手に使えない。

持ち物【児童生徒】

- 眼科の診断書や眼鏡の処方箋
- 眼科で処方されている眼鏡
- 筆記用具
- 持っている場合は、視覚補助具
- 学校で学習している教科書やノート、プリント類

◆成人◆

- 見え方が変わり、仕事や日常生活で困っている。解決のためのよい方法はないか。

